

昭和52年5月25日 第3種郵便物認可 令和2年10月10日発行(毎月1回10日発行)



世界の円満  
人類の福祉

THE ENPUKU

10月

2020 No.481



世界法民連帯 円福友の会

## 円福友の会入会のすすめ

1食1円のSABA運動で世界の平和に尽くしましょう。

SABAとは、禅寺の僧堂でお食事の前に、七粒ほどのご飯をお膳のすみに取っておき、後で小鳥に施す「生飯(さば)」というお作法のことです。

これを日本の皆さんの1食1円のSABAとして、アジアの貧しい国々の子ども達のために学校建築(教育)や、井戸やトイレの設置(環境衛生向上)を支援する、国際ボランティア資金の運動です。1食1円ならどなたにもできます。塵も積もれば山となるように、皆さんの御協力をお願いする大きな愛の運動です。(この運動は、特定の政党や宗教や思想に関係のない、非営利の国民運動です。)

綴じ込みの郵便振替用紙を使い年会費やSABA運動等の協力金をお送りください。お送りいただいた皆様には毎月『圓福』と『おもいやり』をお送りし、円福友の会の活動と円福寺愛育園の子どもたちの様子をご報告いたします。

## 表紙の写真

キムさんがエコ村に入ってくれて、井戸の掘削が始まりました。写真はチュウンラタナさん一家です。

後ろに井戸を掘る機械に人が乗っているのが見えます。

キムさんからのメールには、次のようにあります。

井戸がもらえる人は頑張る人だけです。

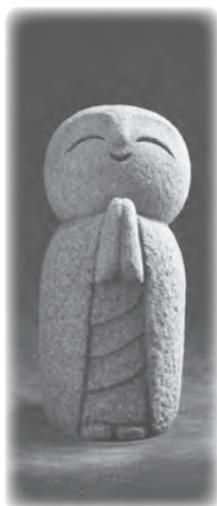
例えば、家から遠いところまで水を取りに行くこと、野菜を作る約束、隣の家でも一緒に水を使うこと、井戸を大切に使う約束、寄付者の看板を守ること。

そんな人に井戸を掘ってあげます。

## 10月号の内容

にこにこ法話 ありがとう	1 p
円福寺出版部からのお知らせ	4 p
カンボジア支援	5 p
途上国開発協力こぼれ話	9 p
円福友の会支援タイ・スラム奨学生 タイスラム奨学生紹介	13 p
敬愛信	16 p

## ニコニコ法話



ボランティアの皆さん ありがとう

災害列島といわれて久しくなりました。地球温暖化の影響で台風規模も強さも大きくなり、毎年あちこちで堤防決壊や土砂崩れなどによる大きな被害が生まれています。長野市でも昨年は台風十九号により千曲川の堤防が決壊して、濁流が広範囲を襲い、家を壊し、床上まで水につかり、広範囲に厚い泥が溜まりました。被災地に立ってみると、改めて全国に起きている災害を実感しました。千曲川のような大きな

### ありがとう

河川の堤防が決壊するなどということは思いもよらないことでした。「想定外」は無くなりました。

打ちひしがれた被災地の救援に全国から大勢のボランティアが来てくれました。集団となつて歩いて被災地に入っていきます。汗だらけになつて、泥だらけになつて、くたくたになつて、厚くたまつ

た泥をかき出してくれます。泥だらけになつてしまったものを運び出してくれます。洗つてくれます。拭いてくれます。本当にありがたいと思えました。十八号線沿いに掲げられた「がんばろう長野」の看板が涙で薄く曇って見えました。

新型コロナウイルスの最前線で頑張っている医療機関の皆さん ありがとう

令和二年は中国の武漢で発生した新型

## ニクニコ法話

コロナウイルスが、世界的な大流行（パンデミック）になりました。日本でも累計で約六万人がり患し、毎日約五百人の人が新しく感染しています（九月現在）。新型コロナウイルスに効果のある薬はありません。症状がない状態で周囲の人に感染します。高齢の人は急激に悪化して死亡に至る割合が高いです。とても怖いです。早期発見し早期隔離して、大勢の人に感染しないようにして、回復（自然治癒）を待たなければなりません。

患者さんが来院する医療現場に従事する皆さんは、り患しないように大変な緊張感の中で仕事をされていることと思います。ひとたびり患すれば、その病院はクラスターとなつて、周囲に大きな影響を及ぼしてしまいます。そのような事例も発生しています。でも、新型コロナウイルスとたたかわなければ

ばなりません。

最前線で頑張っている医療機関の皆さん、それを支えている大勢の皆さん、本当にありがとうございます

### 感謝の日

思えば、私たちは大勢の人々に支えられて生きています。自分の身の回りのものをはじめ、生活のあらゆるものは一つとして自分でできたものではありません。

おかげさま

太陽のおかげで命がある

空気やお水のおかげで 生きていられる

大地のおかげで 食べ物がある

ご飯さん パンさん おやさいさん

お肉さん お魚さん くだものさん

お父さん お母さん ご先祖さま

## 法話ニヨニコ

先生 友だち 子どもたち  
みんなのおかげのおかげさま  
おかげさまは ほとけさま  
ほんとにほんとにありがとう  
幸福はどこに

朝、目が覚めたことが幸せです。今日お食事がいただけることが幸せです。今日働けること、今日学校に行けることが幸せです。いや、悲しいことがあっても、いたわり合えば幸福です。苦しいことがあっても、助け合えば幸福です。不幸な運命もその運命に負けずがんばれば、その経験が力になって成功の基となるでしょう。いわゆる幸福はかえって不幸で、金持ちの家に生まれて恵まれすぎた苦勞知らずの坊ちゃん育ちが仇となることもあります。何が「幸福」で何が「不幸」か、それは「感謝」の心のあるなしで決まるのです。

現在の日本は、世界で一番恵まれているのではないでしょう。今日の経済繁栄、そして福祉国家、このように恵まれた日本に暮らしていながら、それをあたりまえとして感謝の心がなければ、いつどこに幸福があるでしょう。いや、品物や食べ物粗末にして、感謝の心を忘れた日本人はかえって不幸であります。しまいには、夫婦も、親子も、兄弟も、のしつたり、争つたりして、家庭内暴力や、学校内暴力が起きるようになっては、どんな経済大国も不幸です。ここまで来たら、日本国民は、家庭も、職場も村も街も、国中が「おもいやり」と「感謝」の心で仲良く助け合い、お互いが「ありがとう」と言い合い、さらに、全世界、人類のために「おもいやり」の心を持ち、みんなで「感謝」して、世界が仲良く平和で栄えるようにしようではありませんか。

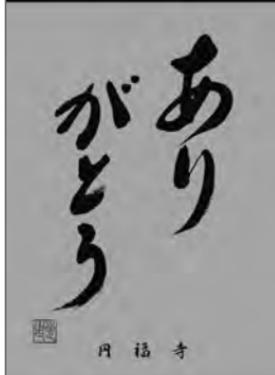
合掌

円福寺出版部からのお知らせ

# 令和三年 仏教ポスター (法話付)

新刊

(縦 52 cm 横 18 cm 光沢厚紙)



(名入れ例)

新刊



(名入れ例)

一心のプレゼント・贈ってよろこばれます—

仏教ポスター 1部30円

(寺院名刷込 400部以上 1部5円増)

仏教法話 1部20円

個々またはセットで取り扱います。

500セット以上注文の場合1セット2円引

# カンボジア支援

エコ村支援 キムさんからのたより

キムさんとは Messenger を使って連絡をとりあうようになりました。

とっても便利ですね。

キムさんと、顔を見ながらお話ができます。メールの交換ができます。

今日（19日）は、川中島平の田んぼの稲穂が垂れていたの、キムさんに日本の田園の風景の写真を送ってあげようかと思って、うまくいかない操作を繰り返していたら、キムさんからフェイスタイムで、連絡が入りました。

顔を見ながら話せるのがすごいです。

キムさんはドローンを飛ばすところでした。周囲に人が集まっているので何人？と聞いた。

たら約10人でした。

それでは、キムさんから Messenger で届いたメールを紹介しましょう。

9 / 10

私 キムさん、今月のどこかでエコ村へ行けますか？

キムさん おはようございます。

了解しました。今月に行けます。

井戸を掘るなら 今月から掘れると思います。

でも、掘る時 その家と約束の紙をつくりたいです。

私 約束の紙に書く原案を教えてくださいね。

キムさん おはようございます。今、コメを収穫する前なので、ドローンはとも忙しいです。でももうそろそろ終わります。

二回目のお米を作るのにちよつと時間がかかります。だから、少し暇になります。

井戸を掘った家との約束の言葉は

1. 井戸を大切に使うこと
2. 壊れたら修理すること
3. 隣に家の人も使えること
4. 野菜をたくさん作ること
5. 壊れて修理できない場合は私に連絡してもらうこと。

契約書にはこういうことを書きます。

あと 井戸を掘る人とも契約をしたいです。

一年以内 もし水が出なくなるともう

一度修理してもらうことです。

先生は井戸を10本作りたいですか。エコ村に人たちをたくさん助けられます。

私 キムさんありがとうございます

とつても

素晴らしいです。井戸を10本作りましょう。よろしくお願しいたします。

キムさん  
今パソコンでキムさんのフェイスブックを見



(キムさんとドローンとトヨタタコマ)

ました。

いい車ですね。新車ですか。おめでとう。

キムさん 新車ではないです。中古車です。日本の車ですよ。

トヨタタコマです。背が高いので、デコボコの道でも走れます。

私はドローンの仕事をしますので、毎日田んぼを回ります。でも、楽しい仕事です。

9 / 18

先生が送金したお金が届きました。全部で884ドルです。

(郵便局に支払う送料300000円のほかに、途中の送料がかかるので、6回分900ドルを送金しました。キムさんとの約束は1回130ドルです。6回で

780ドル。残金はお礼です。)

先生、井戸を掘る時、きれいな水が出るためには約40メートル以上を掘ります。

井戸の中は100mmのパイプを入れます。そうして100mmのパイプの中に34mmのパイプを入れます。34mmのパイプはポンプにつなげます。周りにコンクリートを3メートルつくります。

そして看板は鉄板の上にプラスチック板を貼ります。そういうものは雨にぬれてもなかなか剥がれないです。看板の柄は鉄を使います。

そういう井戸をつくるのに全部精算して一本684ドルです。

周りのコンクリートは私が作ります。看板はシエムリアップから持ってきていきます。

あと、井戸を掘る人と話をしました。井戸をつくってから一年間保証してくれます。

100mmのパイプはモーターポンプでも入れられます。電気があれば、モーターポンプでも使えます。

今作るなら もう一度エコ村に行つて10か所の家を選んで作ります。

私 キムさん凄いです。

約束通り10本作りましょう。今作つてください。10戸の家を選んでください。

キムさん 了解しました。

キムさんと話していると楽しいです。

エコ村が動き始めます。

9 / 23

井戸の掘削が始まりました。キムさんからのメールです。

おはようございます。この井戸はヴァケンという家で掘っています。昨日、23メートルまで掘りました。まだ終わっていません。水は出ますけど、まだきれいな水ではないです。40メートル以上掘ります。



## 途上国開発協力こぼれ話

### ④ タイの小学校での飛び入り授業と 初等教育について

円福友の会顧問 吉田恒昭  
今回からは途上国で体験した「こぼれ話」とそれに付随した話題などを絡めて書きたいと思います。まずは前回にお話した「我が青春の旅：インドシナ諸国放浪」での際立った体験で、半世紀たった今でも色あせない話をいくつかご紹介します。

前回8月号の原稿を藤本住職にお渡しした折に、住職曰く「貴兄がインドシナ諸国放浪の旅から帰国した折に聞いた話で、未だに印象に残っているのはタイの小学校で飛び入り授業をやった話で、確かその時の写真を見せて貰った覚えがある」でした。そこで、まずはこのタイの小学校の話から始めたいと思います。

時は半世紀以上も前の1968年9月、所はタイ北部で今や大都市になっているチェンマイです。当時は、チェンマイでは旅行者が少なく、

街角の食堂で話しかけてきたのが小学校の先生をしているチャイさんでした。チャイさんは日本が好きだそうで、日本に格別な興味を抱いているようでした。彼と英語で雑談をしているうちに「明日にでも私の小学校のクラスで日本の話をしてくれないか」となったのです。私も現地の小学校がどのようなものか好奇心満々でしたので、願っても無いと「行きましょう」と返事をしてしまいました。

翌日、小学校の職員室に何うと、チャイ先生が飛び出して来てくれ、直ぐに教室に案内されて児童達を紹介してくれました。教室は清潔に整頓されており、約30名の児童も小綺麗な制服を着て目が生き生きと輝いていました。



①教室内児童と筆者、1968年9月

日本の小学校との差異はなく、この国は将来性があると思感的に思いました。(写真①)。英語の授業は小学校から行われており、教科書を開いて私が正しい発音を教えることになりました。幸いにも私が卒業した都立駒場高校の英語の授業は日本語を一切使わず英語だけの授業でしたので英語発音はそこそこ良かったのだと思います。とにかく、あまり緊張せずに教科書の「Lesson Ten」を児童達に無事教えることが出来ました。英語の授業が終わると児童からの質問を受けて日本の事情を話すことになりました。日本には象はいるのか、雪とはどんなものかなど子供ならではの質問が続きました。



②授業の返礼にタイダンスを踊る児童、チエンマイにて1968年9月

児童達は私の飛び入り授業に対するお礼としてロイカトン(秋の満月祭)のタイダンスを踊ってくれました(写真②)。児童達の起ち居振る舞いはきびきびしており、彼らの目力はとても印象的でした。児童たちの姿にタイの国の将来が明るいことを感じました。ご存知の通り、近年のタイの経済社会の発展はインドシナ諸国の中では出色です。初等教育の力は国の発展の原動力だと痛感します。いかなる国においても、その社会経済発展政策の中で最も重要な分野は初等教育です。とりわけ途上国においては、政府と国民がどれだけ熱心に初等教育の質の向上に力を注ぐかが決定的に重要だと思います。筆者は日本が発展途上であった明治初期からの初等教育の変遷を主にアジアからの留学生に講義したことがあります。私の父の郷里である福島県郡山市郊外の上伊豆島小学校(明治8年開校)が昭和50年(1975年)に刊行した創立百周年記念誌で述べられている記録を事例として講義を組み立てました。明治維新(1968年)頃の日本人の識字率は世界のトップクラス

であったと言われていますが、明治新政府は「邑(村)に不学の戸(家)なく、家に不学の人なからしめんことを期す」と全国に小学校の開校を布告(学制発布)します。中央政府は号令ばかりで予算配分はほとんどありませんでした。父の郷里は日本の普通の貧しい農村の一つでしたが、この号令に依って、先ずはお寺の本堂を教室とします。先生は読み書きのできる村の成人を代用教員とします。そして数年後には村人総出で校舎を建てます。村の金持ちが資金を提供し、寄付のできない農民は労力を提供します。そして、読み書きのできる住民は代用教員や学務を担当しました。開学当初の10年間では、進級試験を受けて合格するのは全児童の約半数で、極めて厳格な進級試験が徹底され、初等教育でありながら「学」に対する真摯な態度を児童に求めていることが伺われます。

私の曾祖父は明治11年生まれですから、この小学校開設後8年経ってから入学したことになります。曾祖父は漢詩を好み実家の脇の路傍に句碑を残したほどですから初等教育の恩恵を大

いに受けていたことになりました。その後、尋常小学校4年の義務教育無償制度が整ったのは明治33年で、全国的に男女の就学率が90%を超えるのは明治後期で学制発布から既に30年近くを要したことになります。

上伊豆島小学校の百年史を読んで、感動的で現代の途上国にも教訓的なことがいくつかあります。開校当初でのお寺の本堂での授業は児童の増加に伴い難しくなり、木造校舎を建てることになりました。この時に「子供たちが大人になって校舎を立て直す時に困らないように」と近くの山に学校林用地を確保して児童達が檜や黒松などを植林し、その下草狩りなども学校行事としていたことです。また、保護者会(今のPTA)が誕生したのは明治39年でその目的は以下でした。「家計困難ニシテ、就学若シクハ出席スル能ハザル学齡児童ヲ保護シ、就学出席セシムルヲ目的トス」と記されています。自助・共助の精神で村の全ての児童に学ぶ機会を与えようとすることに感動を覚えます。このように村の小学校が村落共同体の一大事業であり続け

たことが分かります。

藤本住職が校長として勤めていた松本深志高校で土曜特別授業をしたことがあります。この折に開智学校を訪問しました(写真③)。この小学校は明治6年に開校し、現存する校舎は明治9年に建設され、つい最近、その建築様式の素晴らしさ故に国宝に指定されました。私は訪問の折に建築様式よりも誰がどのように資金を提供したのかに興味がありました。開智学校は、松本藩の藩校の流れをくむ長野県で最初の小学校でしたから、その開校には相当に気合が入っていたようです。WIKIPEDIAによると、工事費の総額の約7割を松本町全住民の寄付により調達し、残り3割は特殊寄付金及び廃寺をとりこわした古材売払金などで調達したそうです。つまり、街中の小学校も地域住民共同体の資源力によって設立されたことが分かります。加えて、(元)松本藩主はその意向により藩主自身の菩提寺などを計画的に学校に転用して近代化(学制発布)の範を垂れたと言われています。円福友の会が支援するカンボジアでの小学校

造りにおいても、藤本住職の心意気とご尽力で、現地パートナーのキムさんの行動力で地元村民の最大限の協力を得て、住民の理解と参加協力を得ながら校舎建設と維持を企てています。即ち、カンボジアにおける小学校校舎建設支援の目的は校舎建設と維持のプロセスで、村人の村人による村人のための自助共助公助の連携精神を醸成して、村人たちの自発的自立的能力の強化を意図していると言っても過言ではありません。とりわけ、村のコミュニティが持つ共助の力を引き出すようにしていると言えるでしょう。円福友の会の支援事業が他の慈善事業団体とは大きく異なる誇るべき支援のあり方だと思えます。



③旧開智学校校舎外観  
(2009年(平成21年)8月WIKIPEDIAより)

# 「円福友の会支援タイ・スラム奨学生」

## タイスラム奨学生紹介

プラティープ財団から、二人の奨学生の紹介がありました。

拝啓

日頃より格別のお世話になっております。

藤本先生をはじめ貴会の皆さまにおかれましては、いかがお過ごしでしょうか。この4月以来、コロナ感染症（COVID-19）が世界中に拡がり、未だに終息の目途がみえない状況下に各国の経済が不安定に陥っていく一方です。ここタイ国内も益々貧富の差が激しくなっていくことと思われます。

さて、長かった夏季休暇からやっと7月1日に新学期がスタートしました。特に就学中の奨学生たちはオンライン授業におられる日々となり、一部の学校では中間試験に入っ

ています。つきましては、大変遅くなりましたが、ご支援中でしたが奨学生たち数人が卒業しましたので、新たにご支援いただく奨学生2人を紹介させていただきます。

当財団では、奨学生が安心して勉学を続けられるよう、スラム地区の環境改善や保護者たちと子どもたちの指導に努めてまいりますので、何卒ご協力のほどお願い申し上げます。それでは、皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

敬具

ドウアン・プラティープ財団

教育里親事業部 部長

サーイルン・ラックサーチヨーブ



มูลนิธิเพื่อความยากจน  
Bangkok Poverty Foundation

## 奨学生の履歴書

ドゥアン・プラティープ財団  
教育里親事業部

スポンサー名： ENPUKU TOMO NO KAI  
登録番号： 6500/533/M  
氏名： Kachian Pollumjiak  
(カチアン・ボンラムジアック)  
生年月日： 2001年5月2日  
学校名： Chandrakasem Rajabhat University  
学年： 大学1年生



### 【家族構成】

氏名	続柄	年齢	職業	収入
シーノアン・ポートンウガーム	叔母	55	惣菜売り	400 バーツ/日
アディレーク・ポートンウガーム	叔父	54	バイクタクシー運転手	300 バーツ/日
ウサー・ポートンウガーム	従姉	27	-	-
カチアン・ボンラムジアック	本人	19	就学中	-

家族の生活状況について  
彼は一人っ子である。父親は彼が十歳の時に電線の事故により亡くなった。母親は失業して彼を養育できないため、叔母が養母となつて彼を育てていくことになり、母親は別な家で病気により動けない祖母の面倒を見ている。叔父と叔母の二人が働いて家族の生計を立てている。叔母は惣菜売りをして日に400バーツの収入である。叔父はバイクタクシーの運転手として働き、日に300バーツの収入である。ところが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、住民たちが節約ムードになり、利用者が減ってきて収入も不安定になつてきた。家族は70ライ地区にある持ち家に住んでいるので家賃はかからないが、水道・電気代を月に900バーツ支払っている。



มูลนิธิคุณวราพร  
Don Pan Charitable Foundation

奨学生の履歴書

ドゥアン・プラティープ財団  
教育里親事業部

スポンサー名： ENPUKU TOMO NO KAI  
登録番号： 6820/583/F  
氏名： Sunisa Chan-ngam  
(スニサー・チャーヌウガーム)  
生年月日： 2001年1月5日  
学校名： Rajamangala University of Technology Thanyaburi  
学年： 大学1年生



【家族構成】

氏名	続柄	年齢	職業	収入
スパーボン・マンブアック	母親	35	セブン従業員	10,200 バーツ/月
スニサー・チャーヌウガーム	本人	19	就学中	-
スパッサラー・チャーヌウガーム	妹	8	就学中	-

家族の生活状況について

彼女は、二人姉妹の姉である。両親は離婚したため、母親が二人の子供を養育してきている。母親はコンビニ「セブン」の従業員として働き、月に12,000バーツの収入がある。昨今の物価高により、家族はかなり厳しい状況で暮らし、足りない時は高利貸から借金をして生活している。家族はバンコク郊外ワチャラボン地区の持ち家に住んでいるので家賃はかからないが、水道・電気代を月に1,500バーツ支払っている。

なお、1バーツは3.4円です。

# 敬愛信

飯山市にお住いの名古屋さまから、圓福九月号の感想を寄せていただきました。

朝夕さわやかな風に涼しさを感じることとなつてまいりました。九月号圓福をお届けくださいます。誠に有り難うございます。ニコニコ法話を読ませて頂きお棚経の中で「福田を耕す」の事が書いてございまして、私も初めて知りました。水田の水回りの大切さ、檀家の皆様のお宅の一軒一軒に心を配りお棚経をし、たくさんのお話しして心をつないで歩くことそれが福田

を耕すことになるというお話、とても大切なことを学ばせていただきました。感謝申し上げます。私も十月の年金が入りしだい、又少しなりともSABA運動に参加させていたただきたいです。

朝起会もコロナ感染で今までの様に毎朝学ぶという事が出来なくなつてしまいました。「倫風」で学ばせて頂いています。丸山キヨ子さんもボランティアで積極的に参加して地域の方々のためにと努力してください。おります。円福寺卒業生の型見本の方です。私もとても貴女には勉強させられます。「花一本でも人様の家のものを盗んでは

ならない」と普通の人なら一本位いいじゃないかと思つてしまいがちですが「いや決してそうあつてはならない」と丸山キヨ子さんはおっしゃつておいでです。そんな姿に私は涙がこぼれます。丸山キヨ子さんとの出会いに感謝。円福寺亡き藤本幸邦先生に感謝いたします。

丸山キヨ子さんは、円福寺愛育園の卒園生です。ボランティア活動で飯山市社会福祉協議会から表彰されたそうです。「一寸の虫にも五分の魂」や「虫のお墓」のお話もお聞きしました。名古屋さまのお宅には、父が書いた「敬愛信」の額が飾つてあるそうです。

感謝のお知らせ

○令和二年九月分

(八月二十四日～九月二十八日)

●コロナ対策義損金  
(山梨県)

●SABA資金

(千葉県)

(埼玉県)

(神奈川県)

(山梨県)

(長野県)

(新潟県)

●エコ村支援

(埼玉県)

(神奈川県)

様 様

様 様 様 様 様 様 様 様 様 様

様

●おもいやりの会

(神奈川県)

(長野県)

(大阪府)

●災害義損金

(神奈川県)

●大黒天祈禱料

(兵庫県)

ご協力ありがとうございました。

様

様 様 様

様 様 様 様 様

十月の法母会

二十五日(日) 午前八時半より

十一月の参禅会

一日(日) 六時より

(開始時間が遅くなります。)

『円福』

令和2年10月号

第四八十一号

定価一五〇円

発行日 令和2年10月10日

発行人 藤 本 光 世

発行所 円 福 友 の 会

〒388-8005 長野市篠ノ井横田円福寺

TEL〇三〇二九二一〇三八一

FAX〇三〇二九三一九六二九

振替口座 〇〇五二〇一七一六二五六

円福友の会・SABAスクール

愛の日の丸 SABA運動

---

カンボジア小学校校舎建設

---

カンボジア エコ村支援

---

タイ スラム街奨学生支援(教育里親)

---

大災害被災地支援

---

シャンティ国際ボランティア会協力

---

おもいやりの会(愛育園児童自立支援)

---

太平観音堂護持発展

---

円福友の会入会のすすめ

上記の協力金は 郵便振替 00520-7-16256

加入者 円福友の会 あてに御送金下さい

〒388-8005 長野市篠ノ井横田 円福寺内

TEL 026-292-0381

FAX 026-293-9629

<http://ryu-enpukuji.com/tomonokai/>

[enpuku2@janis.or.jp](mailto:enpuku2@janis.or.jp)